

# ファースト・ステップ 4

聖書はどんなお話？



考えましょう：ファースト・ステップ以外で聖書を読んだことがありますか？聖書にどのような印象を持っていますか？

キリスト教において、聖書は非常に重要な位置を占めています。クリスチャンは、神はどんなお方で、神ご自身の性質や性格は何であり、どのようにクリスチャンとして生き、人生の目的とは何かを理解するために聖書を読みます。

聖書は、2000～3600年前に、40人以上の異なる著者が聖霊の神に導かれて書いたものです。聖書は重要な質問に答えています。例えば、この世界はどこから来たのか。世界は当初からこのような状態だったのか？この世界には希望があるのか？私の人生に目的や希望はあるのか？これらの質問に答えることによって、神が愛しておられる創造物をどのように救うのか、そのご計画を聖書は明らかにしています。

神と人類の物語（ストーリー）は聖書の鳥瞰図（ちょうかんず）です。聖書全体でその要点となる部分を見ていきましょう。

## 第1章：創造



### 創世記1章1と31節

初めに、神が天と地を創造した。... そのようにして神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ。それは非常に良かった。

すべてのものより前に、神は存在していました。神はすべてのものを何も無い状態から作られました。神は、星・太陽・月・銀河系などの「天」を作られました。神は美しさ、複雑なデザイン、そして多様性に満ちた「地」を作られました。死、悪、痛み、病気、苦しみはありませんでした。神はすべての創造物の中で、人間を特別なものとして作られました。



### 創世記1章27～29節

神はこのように、人をご自身のかたちに創造された。神のかたちに彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。神はまた、彼らを祝福し、このように神は彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」ついで神は仰せられた。「見よ。わたしは、全地の上において、種を持つすべての草と、種を持って実を結ぶすべての木をあなたがたに与えた。それがあなたがたの食物となる。

生命は良いもので、神とともにあり、永遠に続くものでした。

（神の創造のストーリーについては、創世記1～2章全体を読んでみましょう）

## 第2章：墮落

創世記1章と2章は「驚き」と「喜び」をもって読む箇所です。天地創造が終わった後、私たちが読み進める世界は、理想的な状態で、欠点はなく、神が人と完璧な調和をもって住んでおられました。しかし、次に起こることは、その「完璧な調和」に大きな変化をもたらしました。創世記3章は「喪失」と「悲しみ」をもって読むべきです。「完璧」だったものが、「ひびの入ったもの」になりました。



### 創世記2章15～17節

神である主は、人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。神である主は、人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」



### 創世記3章4～6節

そこで、蛇〔悪魔〕は女に言った。「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。

注：創世記3章に出てくる「女」とはエバ、アダムの妻であり、最初に創造された女性を指しています。同じ章に出てくる蛇は「悪魔」を指しています。アダムとエバはある果物を食べてはならないという神のご命令に従いませんでした。神に不従順であることは「罪」です。

罪はすべてを変えてしまいました。聖書は私たちが「自分自身の欲望に誘われる」ときに罪を犯すと教えています。食べ物として好ましく、良い木でしたが、神によって禁じられていた木でした。アダムとエバの罪深い行動によってこの世に「罪」がもたらされ、人間と聖なる神との関係は破壊されました。人と神との関係が傷のないものから傷のあるものになったとき、すべての創造物も傷ついてしまいました。罪、死、病気、災害、痛み、苦難、そしてあらゆる種類の邪悪が一度は完全な状態であった世界にひびを入れてしまいました。

神様は、ご自身の偉大な愛と憐れみによって、ご自身の創造を回復し、新しくするという約束をされました。



#### 創世記3章15節

「わたしは、おまえ [悪魔] と女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく。」

この約束は、救い主を預言する最初の約束でした。その救い主は人間であり、彼自身の傷を通して、蛇を打ち負かし、人類を救われるのです。この救い主は、「メシア」あるいは「キリスト」として知られています。この時点から神の民は、人類を神と和解させ、墮落した創造を修復するメシアの到来を待ち望み始めたのです。

[この人類の墮落の話は創世記3章で読むことができます。]



考えましょう：今日の世界にあなたは壊れてしまっているしとして何をみますか？

### 第3章：イスラエル



#### ローマ人への手紙5章12節

ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、——それというのも全人類が罪を犯したからです。



#### 創世記12章1～3節

その後、主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

罪と死の影響は人類すべての人に及びました。神様はすべての人々を救うために、一人の男性を選ばれました。アブラムです（後にアブラハムと呼ばれるようになります）。彼の家族を通して、神様はメシアを遣わされるのです。

神様はアブラハムを祝福され、彼の家族はイスラエルと呼ばれる大きな国となるまで成長しました。神様はイスラエルを「神の民」と呼び、他の国々から特別に分け隔てられました。

神様はイスラエルに、どのように生きるかを示すために「律法」を与えられました。

神様はイスラエルに、神様にどのように近づくかを示すために「神殿」を与えられました。

神様はイスラエルに、どのようにして罪が死によって扱われなければならないかを示すために、動物を犠牲としてささげる「儀式」を与えられました。

しかし神様はすでにご存知でした。

「律法」は、イスラエル国民がどれほど罪深い状態にあるかを明らかにしただけで、その問題を解決することはできませんでした。

「神殿」は、年に一回、ひとりの人だけが神様に近づくことを許しますが、神様との生きた関係を回復させるものではありませんでした。

そこで捧げられる「犠牲」はイスラエル国民に彼ら自身の罪深い状態を思い出させるだけででした。犠牲は捧げ続ける必要があり、それに終わりはなく、人々の罪を完全に清めることは出来ませんでした。



#### ヘブル人への手紙10章1～4節

律法には、後に来るすばらしいものの影はあっても、その実物はないのですから、律法は、年ごとに絶えずささげられる同じいけにえによって神に近づいて来る人々を、完全にすることができないのです。もしそれができたのであったら、礼拝する人々は、一度きよめられた者として、もはや罪を意識しなかつたはずであり、したがって、ささげ物をするとは、やんだはずで、ところがかえって、これらのささげ物によって、罪が年ごとに思い出されるのです。雄牛とやぎの血は、罪を除くことができません。

神様は、近い将来に罪を修復し、その効力はただ一度の完全なものです。

(イスラエルの民のストーリーは創世記、出エジプト記、民数記、ヨシュア記、士師記、ルツ記、サムエル記、列王記、エズラ記、ネヘミヤ記で読むことができます)



考えましょう：この世界であなたが感じたり見たりする「破れ」「ひび」「壊れ」をどのように修復、対処、あるいは避けようとしていますか？

イスラエルの民が経験したように、自分自身の力で問題を修復しようとしたり、解決しようとするプロセスには終わりはありません。もし問題を避けたり、自分で対処しようとしたり、私たち自身が心の底で感じているものを偽るそぶりをしようとするなら、そのプロセスはやっかいで、とても疲れるもので、とても続けられません。イスラエル国民は救い主を待ち望んでいましたが、私たちにも救い主が必要です。

## 第4章：メシア

ついに、完璧なタイミングで、神様は御子を人間の体で、赤ん坊として生まれる形で地上に送られました。その赤ちゃんは「イエス」という名が与えられました。彼は「キリスト」あるいは「メシア」と呼ばれました。

すべての人間と異なり、イエスは神様の律法に従い、完全な人生を送られました。イエスは一度も罪を犯さなかったのです。

イエスは完全なイスラエル人であるとともに、完全な人間でした。彼は過去の預言者たちがメシアについて言及していた事柄を達成するために来られました。事実、イエスが生まれる700年以上も前にイエスの誕生が預言されていました。



### イザヤ書 53章 5～6節

しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。

イエスは、死を生み出した根本的な原因である罪を修復するために来られました。ファースト・ステップ3であなたの家に来た客が、泥のついた靴を脱ごうとしなかった話を覚えていますか？同じように私たちには、神との個人的な関係を持つ前に取り除かなければならない不浄や霊的な汚れがあります。しかし、靴とは異なり、私たちはそれらの汚れを自分の力で取り除くことはできません。イエスだけが私たちの汚れ、つまり罪を取り除くことが出来るのです。イエスが私たちの罪を取り除いてくださるので、私たちは、汚れのない聖なる神に近づき、和解することが出来ます。



### ペテロの手紙第一 2章 24節

そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」

このような方法で、メシアは彼自身の死をもって罪に打ち勝たれました。罪が打ち負かされたので、死は力を失いました。それで、イエスは勝利者として死の中からよみがえられました。イエスはもう二度と死にません。イエスは罪と死から開放された最初の存在でした。そして、イエスを信じる信仰によってイエスにつながるすべての人は、同じように罪と死から開放されます。



### 第一コリントへの手紙 15章 22～23節

すなわち、アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストによってすべての人が生かされるからです。しかし、おのおのにその順番があります。まず初穂であるキリスト、次にキリストの再臨のときキリストに属している者です。」

(「メシア(救世主)」に関するお話はマタイによる福音書、マルコによる福音書、ルカによる福音書、またはヨハネによる福音書全体で読むことができます)

## 第5章：教会と回復

現在、イエスの復活後、イエスを信じる者は霊的に新しく生まれ変わっています。イエスを信じる者全ては、神による新しい人間性を手に入れた人たち、つまり神の新しいイスラエルー「教会」と呼ばれる神の新しい民なのです。



### ペテロの手紙第一 2章 9～10節

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。

教会はイエスの復活と昇天後に始まり、現在に至ります。教会は、キリストにある神の民として、世界中にこの新しい創造の良い知らせを広めていく使命が与えられています。

イエスの復活によって、クリスチャンの心と生活の中に霊的な新しい創造が始まりました（第二コリント 5:17を読んで下さい）。将来私達は、天と地が新しく創られ、人類が神とともにもう一度生きることを待ち望んでいます。それによって神の新しい創造の業が完成します。

イエスは天に昇られましたが、すぐに戻ってきます！初めてイエスがこの世に来られた時は、謙遜にも、赤ん坊として来られましたが、二度目に来られる時は勝利の王として来られます。

イエスが再び戻って来られた時、すでに死んだすべての者を甦らせ、イエスを信じているかどうかによって裁かれます。彼らの人生を通してイエスを拒否した者は、永遠の死へ渡され、イエスを信じた者は新しく創られた者として神と共に永遠に生きます。



#### ヨハネの黙示録 21章 1～5節

また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」すると、御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」また言われた。

注：この啓示 21章はイエスの弟子であるヨハネが見た将来を預言する幻です。

ついに神の創造は完全な状態へと回復し、罪や死はもう存在しません。創造当初のように、人類は神と完全な調和を保ちながら、神への賛美と栄光のために生きようになります。

命は神とともにあり、永遠であり、キリスト・イエスを信じる者にとって善いものとなるでしょう。

(教会の始まりや、すべての回復のプロセスに関しては使徒の働きとヨハネによる黙示録全体を読んでみましょう)



考えましょう：神があなたの人生で働き、神を通してあなたが回復へと導かれるのを感じたり見たりしたことはありますか？

あなたは偶然にファーストステップを学んでいるのではありません。これらのテキストを学んでいるという厳然たる事実は、神があなたを探し求めておられ、あなたを真理に向かわせる人物を置かれていることを意味しています。この世は崩壊していますが、神はあなたを救い、回復させたいと願っておられます。

まとめると、聖書は私たちに「神ご自身」「この世」「私たち自身」「罪」そして「イエス・キリストによる救い」に関する真理を教えています。クリスチャンになる前に聖書を全部読んで、学ばなければならないと思わないください。誰でも、イエス・キリストにある信仰を通して、神に近づくことができます。もしかあなたがキリストに信仰を持っているなら、「今」クリスチャンになる一歩を踏み出してください！あなたは聖書を通してクリスチャン人生全体をかけて神の真理について学んでいくことになるでしょう。

---

「ファーストステップ：ステップ5」に備えるために、事前に読んで予習をしてください。時間が許せば、クリスチャンについて書かれた「使徒行伝」の書を聖書から読んでください。